

上候處伺之通可申渡旨被仰渡候朱書上

大川橋請負人伊右衛門跡請負願之儀ニ付申上候書付

書面伺之通伊右衛門惣五郎右衛門江跡請負可申渡旨被仰渡奉承知候

亥七月十日

服部仁左衛門

中村又藏

大川橋請負人淺草花川戸町家主伊右衛門儀老病三而相勤兼候ニ付此度惣五郎右衛門與申貳十五歳ニ罷成候もの江跡受負被仰付被下置候様別紙之通願書差出申候願之通可申渡候哉奉伺候以上

亥六月

服部仁左衛門

中村又藏

〔永代橋凶事實記〕永代橋請負人深川中島町家主忠右衛門卯五十五歲同平右衛門十二月八日病死同所小川丁内喜右衛門卯五十四歲

右之内忠右衛門平右衛門儀永代橋請負人申付置候處去年八月深川八幡祭禮之日橋落入溺死之もの多不慮之災難與は乍申且は往來群集の内手當不行届故有之大勢之人命にもかゝり候上者罪科難遁に付遠島申付右喜平誤喜恐右衛門義存命候得者遠島可申付處病死いたし候間其旨可存右一件橋番人橋掛り名主共等同叱置

辰五年文化六月六日

造橋用度

延喜式二十六諸國出舉正稅公廨雜稻

近江國○中勢多橋料一萬束播磨國○中道橋料一萬束美作國○中道橋料一千束阿波國略○中道橋料五百束